

ふみびと

第321号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

幼き日々の眺め いま再び

「見えない壁」を越えて

買い物の合間に少し休もうと腰掛けたシート。ふと目に入ったのはキッズエリアで遊ぶ子どもたち。

何組かの家族が、ようやく歩けるようになったばかりのように見える子や、まだハイハイで一歩懸命に前に進むような子をそれぞれ遊ばせているのを何となく眺めていると、何度となく目にするのが子どもたちがお互いに近寄っていく様子。

ある子はチラチラ様子

を見ながら、またある子は恐れることも知らないように一直線に。アプローチの仕方は違っても、さやかな「ふれあい」が始まるまではあつという間で、大人でも、いえ大人だからこそ驚かされるもの。

きつと多くの子どもは好奇心の赴くままに近寄り、ふれあい、無意識に相手のことを知ろうと動くもの。それが大きくなるにつれて「理由」がないと近づかなくなってしまう。

「夏」の前にしなやかな「初」が置かれることで、力強さが和らぎ、いかに今この季節らしい新鮮な生命力を感じる。手書きでもメールでも、ついこの言葉を贈りたくなる。大好きな美しい言葉を、折に触れて口にし、文字にすることで、この素敵な季節を存分に味わいたいと思う。



「見えない壁」のようなものを取り払わないと「ふれあい」ができなくなるのはいつからなのだろう。

小さな子どもたちを見てそんなことを考えさせられました。

ある程度の年齢になると、年齢や立場など相手との関係性を考えて付き合う必要が出てくるから仕方のないことなのだけれど、もしかしたら私た

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務信同の返宛の筒にのりをつけて、封下まで流し交りま



お知らせ

5月の発送日

次回発送日は29日の予定です。送りたいお手紙がある場合には3日前(26日)までに事務局に到着することを近隣の郵便局で確認の上ポストに投函してください。

言葉の冊子

「お気に入りの○○」の投稿冊子を5月19日にウェブ上で公開されます。たくさんの方の投稿ありがとうございました。これを機に手紙の交流が広がれば幸いです。今回参加出来なかった方も次回ぜひご参加ください。

緑と光の中で

「初夏」という言葉が好きだ。以前、「声に出して読みたい日本語」という本が流行った記憶があるけれど、この言葉もつい口にしてみたくなる。「春」や「夏」のように日常会話で頻りに使う言葉ではないからこそ、まぶしい光に照らされる新緑を見上げながら「初夏だなあ」などと呟きたい

一段とさわやかになる気がする。

音の響きはもろろん、文字としての並びも魅力的だ。密度の濃い

「夏」の前のしなやかな「初」が置かれることで、力強さが和らぎ、いかに今この季節らしい新鮮な生命力を感じる。手書きでもメールでも、ついこの言葉を贈りたくなる。大好きな美しい言葉を、折に触れて口にし、文字にする

とで、この素敵な季節を存分に味わいたいと思う。

